

さなげ 猿投の里 / おいでん

MAP



A 猿投山

猿投山は豊田市の北西部にあり、愛知高原国定公園の北西部に位置します。古くから霊山として人々に崇められ、山麓には猿投神社があります。猿投神社は、豊田市の縣産神社、知立市の知立神社と共に三河国三宮となっています。

B 大雅命御墓所

大雅命は日本武尊として有名な小碓命と双子の兄弟といわれており、猿投山で蛇にまかれて亡くなったと伝えられています。これが縁で猿投神社の祭神として崇められるようになりました。墓所は石壇に囲まれた中は七色の半円型になっています。土盛は五色の土を使って築かれ、柱は土器で作られたといわれています。

C 山中観音堂

猿投神社の鬼門除けの寺として、平安時代に創建されました。本尊の千手観音像(県指定文化財)は平安時代中期の作。建物は室町時代末期の建造といわれています。

D 大悲殿の紅葉

猿投山ふもと東昌寺大悲殿前の紅葉はとも美しく、訪れる人々を楽しませてくれます。例年11月中旬から色づき始め、11月下旬にかけて見頃となります。

E 棒の手

棒の手は、室町時代から受け継がれてきた農民武芸で、棒や刀、槍、鎌などを使い演じます。猿投町棒の手保存会には、鎌田と見当流の2流派が伝承されています。

F 猿投神社

標高629メートルの猿投山に東宮、西宮を祭り、本社と合わせて猿投三社大明神と呼ばれています。櫻鳥糸威蔵(かしり)とおもしろい(おもしろ)や黒漆太刀など国指定文化財の所蔵があります。秋の大祭には、県無形民俗文化財の「棒の手」が奉納されます。

G 舞木廃寺塔跡

塔の中心にあった礎石が元の位置の状態で残り、その周囲には礎石と思われる3箇所の石もあり、7世紀後半の寺院の跡と考えられています。国指定の史跡です。※駐車場なし

H 菊石

加納川には、菊の花弁のように見える球状花層岩があります。このような花層岩は珍しく、国指定の天然記念物になっています。

I 鈴ヶ滝

鈴ヶ滝は、猿投山の南西に位置します。猿投山に参拝する修験者達はこの滝で身を清めて頂上に向かっていました。ここでは、彼らの持つ錐杖の音が絶えなかったことから、鈴ヶ滝と呼ばれるようになりました。

お子様といっしょにぜひ!!

鈴ヶ滝伝説の紙芝居をご覧くださいませ!!

詳しくはこちら

J 弘誓院

弘誓院は、1490年に徳川家康のご先祖さまである松平親忠公により建立されました。松平家と深い関係を持っており、寺紋には三つ葉葵の紋も使用されています。

K 尾州常夜灯

江戸時代、本徳村は瀬戸の霊興寺領であったため、常夜灯の側面には尾州霊興寺領と彫られています。霊興寺領となった由来は、徳川家康のご褒美と伝えられています。

猿投のさらなる魅力を豊田市ホームページで公開中!!

ガイドマップやウォーキングマップも見られますよ!

詳しくはこちら

猿投エリアは果物がいっぱい!

猿投山麓の豊かな水と土壌で育った果物は絶品! MAP内にあるように、桃、梨、柿のほかブルーベリーやいちごもあります。